



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

日高山脈博物館は「ジオ・ミュージアム」
道内唯一の地質と岩石の登録博物館！

通算 第81号 2023.8.

日高山脈ネイチャーセミナー 2023 「日高の岩石観察入門」開催しました。

岩石の種類が多い日高の沙流川河原で、岩石の観察会を行ないました。

6月24日に岩石地質講座「日高の岩石観察入門」を開催しました。

当館の学芸員が講師をつとめ、日高で身近に訪れることができ、岩石の種類が最も多く観察できる沙流川の河原で、それぞれの参加者の目標や興味にあわせ、河原で自由に岩石を観察しながら分類を学ぶ内容でした。

次第に岩石の分類ができるようになり、それにともない、他地域では観察が難しいものであったり、日高で観察できる岩石の種類が多さに驚かれる方も多くいらっしゃいました。

岩石や地質に特化した講座も、毎年開催することで、日高山脈博物館とともに認知され、開催ごとに、目的や目標を持った新規参加者や、リピーターの方も増えてきており、参加者の習熟度も高くなってきているように感じます。今後も、このような講座を継続していきたいと考えています。



日高山脈ネイチャーセミナー 2023 「日高のジオサイトへいこう」開催しました。

日高山脈にかかるジオサイトをめぐる講座です。今回は、三石地域に足を運びました。

7月22日に岩石地質講座「日高のジオサイトへ行こう」を開催しました。当館顧問・加藤孝幸氏が講師、当館学芸員が運営や第2講師をつとめ、三石地域の地質や地形について、サイトをめぐりながら学習しました。

蓬萊山公園に集合し、周辺の蛇紋岩体や白亜紀付加体の岩石を三石川で観察したのち、蓬萊山と蛇紋岩体が形作る地壘構造の地形、三石市街が形成されている海食台の地形なども観察し、鳧舞川河口付近では、三石川とは異なる岩石の分布を観察するなど、三石地域のジオサイトを多く巡り、地質や地形を学ぶことができました。

内容も、NHK番組「ブラタモリ」のような形で、講師・学芸員・参加者同士のコミュニティの場ともなっており、内容は専門的であっても、参加者の目標や興味にあわせて解説や実習を行うことで、和気藹々とした時間となっていました。博物館の特色としても、継続していきたい事業です。

